



亀山版ネウボラ「TEAM SUKU-SUKU」について

亀山市では、妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な子ども・子育て支援のため、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」を核としてこれまで展開してきた支援体制について、「TEAM SUKU-SUKU（チーム・すくすく）」と名付けました。

この体制は、本年4月の機構改革に伴い、これまで所管課が異なっていた子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点が子ども未来課の所管となったことを機に各拠点の連携を強化するとともに、関連部署等を一つのチームとして身近に感じていただくことで、安心して子育てしていただけるように構築したものです。

妊娠期・出産前後に関わる産婦人科や助産所をはじめ、子育て期に関わる小児科や保育所・幼稚園・認定こども園、小・中学校、放課後児童クラブ、また民生委員・児童委員など幅広い機関等から構成されています。

大きな特徴は、全ての妊産婦・子どもとその家族を対象とする「ポピュレーション・アプローチ」による育児相談や乳幼児健診等を行い、その中でリスクや課題が発見された方々に対して個別支援を行う「ハイリスク・アプローチ」に迅速かつ効果的につなげる点です。相互の「顔が見える関係づくり」を大切にした医療・保健・福祉・教育のネットワークを生かし、切れ目のない支援をチーム一丸となって行います。

今後も、県内を先導してきた「子育てにやさしいまち」として、安心して妊娠、出産、子育てができる環境を整えてまいります。

詳細につきましては、別紙資料をご覧ください。